

令和3年度の長崎県技術士会の総会について

長崎県技術士会会长 山口和登

令和3年度の長崎県技術士会の総会を6月5日(土)に予定していますが、新型コロナウイルスによるコロナ過の不安が払拭できません。このため、今回の総会も開催時間を短くし、かつ多くの会員の参加(意向確認)を図るため、今年度も昨年度に引き続き、書面表決による実施を計画したいと思います。昨年度の総会は書面表決を実施したところ、全会員180名の68%の議決権行使が行われました。表決の結果につきましては、厳正な立ち合いのもと、表決結果の確認が行われ、結果報告は総会時に行い時間短縮に努めました。また、結果は全会員にメールで報告するとともに、長崎県技術士会のホームページにも掲載いたしました。

今年度の総会は、下記の様に予定しています。

- 1号議案：令和2年度事業報告、
- 2号議案：令和2年度収支報告及び監査報告、
- 3号議案：令和3年度事業計画(案)、
- 4号議案：令和3年度収支予算(案)、
- 5号議案：令和3・4年度役員構成(案)、

報告事項：会員名簿様式の一部変更の審議等

議案につきましては以下の様な工程で実施します。

議案の書面表決工程

5月10日(月)	書面表決案内&通知
5月28日(金)	FAX、メールの書面表決〆切
6月4日(金)	表決確認作業(13:00~)
6月5日(土)	総会、メール配信、HP掲載

長崎県技術士会

令和3年 4月10日発行・責任者 山口 和登

5月になりましたら総会の案内文、個別議案を会員各自に送信しますので、可決・否決のご判断を記入の上、返信していただきたいと思います。併せて返信時に

- ① 所属先・所属部所、
- ② 連絡先(住所・電話番号・Eメール)、
- ③ 登録部門の追加、
- ④ その他

変更事項がございましたらお知らせください。

令和3年度の会員名簿作成時の参考といった思います。事務局のほうでも変更事項については調査いたしますが、情報が限られているため、連絡がない場合は前年度同様の内容の記載となりますのでご了承ください。

会員名簿については役員会で以下の様な意見が出ました。

- ① 名簿の内容
- ② ページ数(もっと薄くてもいいのではないか)
- ③ 発行部数(現在は350部作成しているが少なくしていいのではないか)
- ④ 発行年(発行を毎年行っているが隔年発行ではどうか)
- ⑤ 電子媒体(紙ベースの名簿はなくして電子媒体の発行ではどうか)等

いずれも名簿作成の経費を削減するとの趣旨で意見が出たと思われます。

この件も会員各位の皆さんの意見を伺って決定したいと思いますので、会員名簿に関するアンケートも実施したいと思います。アンケート

結果を尊重し、令和3年度の会員名簿には間に合いませんが、結果を参考に令和4年度の会員名簿から改定を実施したいと思います。

今年度の名簿に関しては例年通りで作成準備中であります。会費未納の方が十数名おられますが、年会費が3,000円と安いため、忘れられている方が大多数と思われます。しかし、3年以上の会費未納の会員は会則に則って自動的に退会となりますので、心当たりの会員はお問い合わせください。尚、今年度の総会（6月5日）までに会費納入の方は、令和2年度会費は未納となりませんのでご確認ください。

以上、令和3年度の長崎県技術士会の総会の予定概要などについて述べましたが、会員の皆様が返信メール、ファックス、郵送等どのような形でも結構ですので、1人でも多くの書面表決に参加を期待しておりますのでよろしくお願ひ申し上げます。

第六回長崎大学（社会環境デザイン工学コース）学生への講演会報告

長崎県技術士会 理事 園田直志

毎年度末に「技術士資格」の広報活動を実施していますが、今年で6回目になりました。

当初は、新型コロナウィルス対策による例年と違った環境のため、講演会の中止等を検討していましたが大嶺聖教授の要請もあり、3年生の企業説明会の合間に90分間のオンライン（zoom）での講演を実施しました。

今年の特殊な環境の中では、例年の講師派遣については実務についている技術士の方に講師を依頼するのも憚って、下記の様に当該技術士会役員で実施しました。

長崎大学の学生達は長期に至ってオンライン講義の日常です。

実際にオンライン講義を経験した我々講師を務めた役員や聴講者の大学側と学生双方の努力や苦労も交えて報告します。

講演内容・日時

日時：令和3年2月17日（水）（90分）

場所：長崎大学工学部工学研究科社会開発環境デザイン工学コース講義室

オンライン講義（10:30～12:00）

（1）「技術士制度について（2021年版）」

講師1：長崎県技術士会会长

山口和登（応用理学部門）（約25分）

（2）「修習技術者について」

講師2：日本技術士会長崎県支部長

山口昭光（農業部門）（約25分）

（3）「技術者のキャリアパス」

講師3：長崎県技術士会理事

園田直志（建設部門）（約30分）

（4）質疑応答とアンケート願い（約10分）



写真1：オンライン講義風景

（1）「技術士」制度について

例年、当会の山口和登会長が実施している講演内容です。

① 国家資格「技術士」の紹介と技術士制度と技

術士及び技術者の定義や役割、仕組みをわかり易く説明した。

② 最近の一次試験、二次試験合格者数などの現状を説明した。

③ JABEE 認定プログラム修了生や一次試験合格後に技術士になるための初期専門能力開発(IPD-Initial Professional development)の基本方針について講演した。

④ 技術士の義務・責務や特典を交えて 21 世紀の技術士としての心構えを学生達に伝えた。

(2) 「修習技術者について」

今回は、日本技術士会九州本部長崎県支部長の山口昭光氏に、令和 2 年度の「第 10 期 技術士分科会 制度検討特別委員会」でも話題になっている「修習技術者」について JABEE 認定プログラム卒業予定の学生達に、分かりやすく解説して頂いた。

① 修習技術者とは、技術士補となる資格を有する者である。

② 修習の目的と目標を持ち社会的・経済的役割を果たす事を述べた。

③ 目標達成のための鍵を伝え、その修習方法や姿勢を講演した。

④ 修習技術者に求められる基本課題と資質・能力、具体的な実施方法などを述べて学生達の道標(みちしるべ)を伝える講演であった。

(3) 「技術者のキャリアパス」

筆者の講演内容です。

① 第 5 回の昨年(2019 年度) 実施した長崎県技術士会の会員のアンケート「技術士資格のメリット・デメリット」の集計結果(APREN 第 69 号で報告)を交えて、「土木学会認定土木

技術者資格制度」を紹介した。

② 土木系修習技術者としてはこの資格制度を利用して国家資格「技術士」に挑戦し、技術士資格取得後も継続研鑽(CPD)を実施することの重要性を講演した。

③ 過去 5 回の講演会報告記事を長崎県技術士会のホームページに掲載している事を紹介した。

第 1 回—APREN53 号 (H28. 4. 10)

第 2 回—APREN56 号 (H29. 1. 10)

第 3 回—APREN61 号 (H30. 4. 10)

第 4 回—APREN65 号 (H31. 4. 10)

第 5 回—APREN69 号 (R2. 4. 10)

第 6 回—APREN73 号 (予定、R3. 4. 10)

(4) 大嶺聖教授の感想

昨今の厳しい環境の中での長崎県技術士会の講演について、感謝の言葉を頂きました。また、下記の 3 点についても確認しました。

① 今年の学生は公務員志望者が多いので、公務員にも「技術士資格」は重要であることを補足指導する。

② 修習技術者から二次試験受験資格への必須経験年数 5 年の中に大学院の研究期間もカウントされる事を補足指導する。

③ 長崎大学の教育姿勢は、6 年の大学教育制度で、より高度で優秀な技術者を社会に送り出す方針であり、長崎県技術士会のメンバーは JABEE コースの外部評価委員会の委員も兼務しているので、次年度からも講演会に協力する。

(5) 講演後の学生アンケートの集計結果

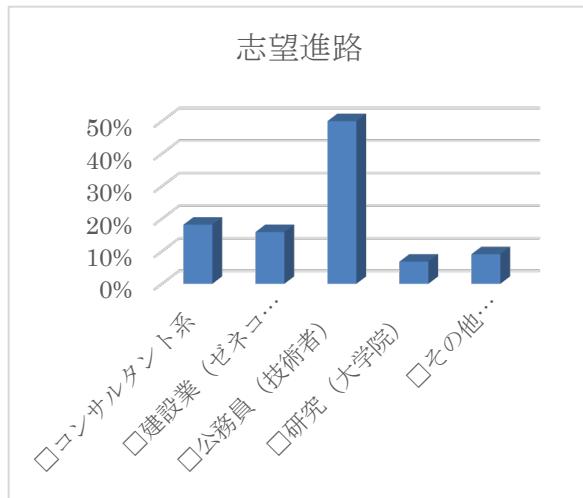
例年のようにアンケートを事前配布の項目によ

り、講演後に学生へ実施しました。オンラインによる Google アンケート方法は回答も集計も楽に出来たので大変参考になりました。

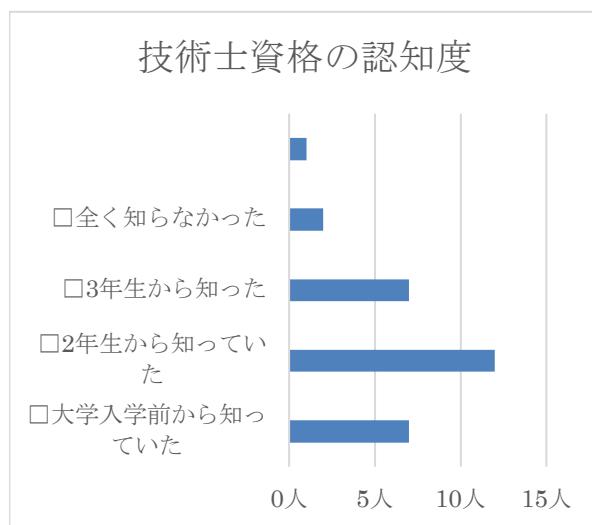
アンケート集計者数は 29 名でしたが、事前の学生志望調査数は 44 名です。その内訳は下記の様に公務員 50%、コンサルタント系 18%、建設業 16% と続きます。

以下に、主なアンケート項目について述べます。

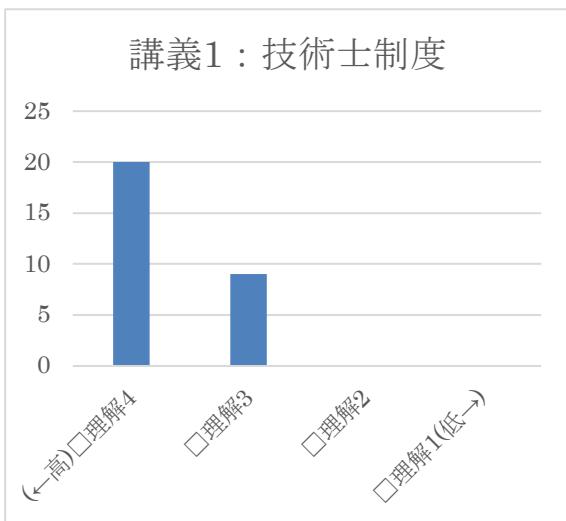
① 志望進路



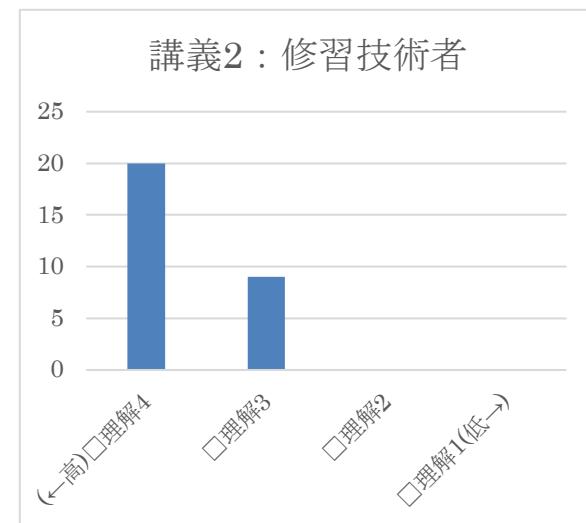
② 技術士の資格や名称を以前から知っていましたか



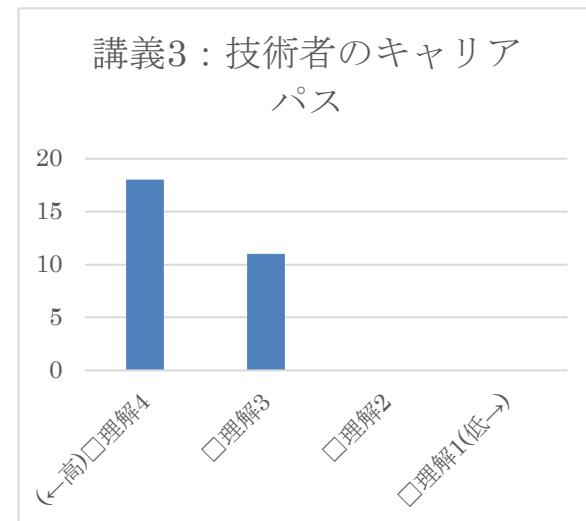
③ 講演 1 (技術士制度について) の内容は、理解しやすかったですか



④ 講演 2 (修習技術者について) の内容は、理解しやすかったですか



⑤ 講演 3 (技術者のキャリアパス) の内容は、理解しやすかったですか

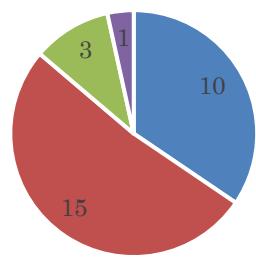


講演 1～3 とも学生には理解されたと考えま

す。

- ⑥ 技術士の方から、実践的な技術者倫理について学びたいですか

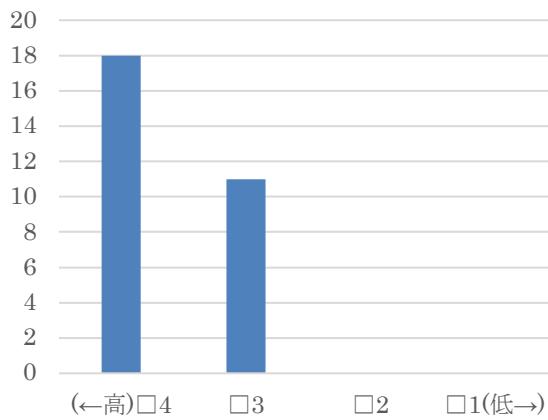
技術者倫理の学習希望度



学生は、実践的な技術者倫理教育を希望している様です。この希望に長崎県技術士会等が応えていかなければと思います。

- ⑦ 本研修中は有意義でしたか。

本研修会の有意義度



大変有意義であったとの回答です。

- ⑧ 研修中に強く印象に残ったことを述べて下さい。技術士資格のメリット等についてどう思いましたか。

A) 技術士の資格を持っているということは、それ相応の技術や知識を有していることの証拠になるのだと感じた。それによって、信頼度や給料も上がるのだとわかった。

B) 取るのは少し難しいが、取ることで今後の人生が変わり、また技術者としてもレベルアップすることができるため、確実に取ろうと考えた。

C) 技術士資格を取ることによって一流の技術者に繋がると感じた。技術士資格を取ることによって待遇にもよい変化があり、さらに魅力を感じた。

D) 今回の研修で強く印象に残ったことは、社会人は正解を自ら考え導き、出した答えには責任を持つという点で学生と違うということです。技術士資格のメリットでも多くの人々からも信頼度が上がるというところに魅力を感じました。

E) 単に上司の話や頼みは聞くだけではなく、主体的に取り組み、周りと相談しながら責任を持ち、取り組むことが大切だということが印象に残った。技術士資格を持っていれば、基礎知識を応用する能力が身につくと思った。また、転職に有利であるというメリットがよいなと思った。

F) 技術士の資格を取ることでキャリアアップに繋がると感じた。

G) よかった

H) 技術士資格はまだまだ知られていないことが多いので、メリットがあることを知れてよかったです。

⑨ 技術者としての将来について、日頃から何か考え、意見・質問がありますか。その他自由な意見を述べて下さい。

- A) 技術士資格試験を受けてみようという思いが強くなりました。
- B) 社会人になっても、何歳になっても、学びの姿勢をいつまでも持ち続けていこうと思います。
- C) 講義を通して土木学会認定資格の二級土木技術者資格を学生の間に取得したいと思いました。
- D) 技術士の資格は考えたことがなかったですが、将来のことを考え、もっと調べてみようと思いました。お忙しい中、講義をしてくださってありがとうございました。
- E) 土木分野は女性が少なく体力面では男性に劣るが、技術士やその他の資格を取得して、女性技術者として仕事に携わっていきたい。
- F) 立派な技術者になるために一生勉強していくことが大切なだと感じました。私は建設コンサルタント業に就職したいので、社会人になって技術士の資格に積極的に挑戦していこうと思
- G) とても有意義な時間になりました。
- H) 技術士資格についての理解を多くの人に知ってほしいと感じた。
- (6) おわりに
29名の聴講学生からその他多くの感謝のコメントなどが頂けました。
講義中に、慣れない自前のノートパソコン（MacBook Air）を駆使しながら途中でバッテリー不足などに直面し、ヒヤヒヤしながらの講演を終えました。
関係者の皆様有り難うございました。次年度も第7回が実施される事を望みます。
- (了)

※ 機関紙発行担当からのお知らせ

(1) 新入会員の紹介（2月承認）

(区分)	(氏名)	(部門)	(所属)
A会員	森 忠行	建設	(有) ジーアイコンサルタント

(2) 令和3年度の総会のお知らせ

記事にもあります様に、令和3年度の総会は6月5日（諫早市）に予定されています。新型コロナウィルス感染症対策を考慮し、事前に書面表決や時間短縮処置などの手順を後日にお知らせしますので、ご理解の上でご協力の程よろしくお願ひ致します。

(3) 会員名簿の編集

令和3年度版の会員名簿を作成準備中です。新しく職場や組織の変更及び部門等の追加があった方々は所属・連絡先などを事務局または下記へお早めにご連絡いただきますようにお願い致します。

連絡先 園田直志
sonoda_naoshi@icloud.com